

環境チェックレポート

(1) プロジェクト名

ガラボガス肥料プラント建設プロジェクト

(2) 実施場所

トルクメニスタン / バルカン州ガラボガス市

(3) プロジェクト概要

肥料プラントの建設

(4) カテゴリ分類

カテゴリ A

(5) カテゴリ分類の根拠

本事業は、環境ガイドラインに掲げる影響を及ぼしやすいセクター（石油化学セクター）に該当するため。

(6) 環境許認可

本プロジェクトの環境影響評価報告書（以下、「EIA 報告書」）は、同国制度に基づき同国自然保護省（以下、「当局」）より 2013 年 7 月 15 日に付帯条件付で承認されている。

(7) 汚染対策

大気質、水質、廃棄物及び騒音・振動等項目について現地基準に沿った適切な対策計画を策定・実施している。

(8) 自然環境面

本プロジェクトサイト内又は近傍地域に保護区及び文化遺産は存在しない。本プロジェクトサイト周辺において、同国法の保護種に指定されている鳥類 7 種が存在するが、事業者は適切な影響緩和策を講じる計画である。

(9) 社会配慮面

本プロジェクトにおいては、新たな用地取得及び非自発的住民移転は存在していない。また労働環境についても、事業者は同国の労働環境に係る法令を遵守する計画である。

(1 0) 適用国際基準

世銀セーフガードポリシー

(1 1) その他・モニタリング

EIA 報告書に係る付帯条件の遵守状況および生態系に関する当局からの指摘の有無及び対応状況についてモニタリングを実施する予定。

以 上

質問事項

質問 1. プロジェクトサイトの住所を記入して下さい。

プロジェクトサイトの住所: Garabogaz Region, Turkmenistan

質問 2. プロジェクトの内容について簡単に記入して下さい。

アンモニア/尿素プラントの新規建設プロジェクト。

質問 3. プロジェクトは、新規に開始するものですか、既の実施しているものですか？既の実施しているもの場合、既に行われているプロジェクトは現地住民等より強い苦情や現地環境当局から改善指導や工事中止・操業停止命令等を受けたことがありますか？

新規 既往(苦情等あり) 既往(苦情等なし) その他()

質問 4. プロジェクトに関して、環境影響評価 (EIA, EIS 等) はプロジェクトを実施する国の法制度上必要ですか。必要な場合、実施または計画されていますか？

要 (実施済) 要 (実施中・計画中) 不要
 その他()

質問 5. 環境影響評価を既の実施されている場合、環境影響評価はプロジェクトを実施する国の環境影響評価制度等に基づき審査・承認を受けていますか？既承認されている場合、承認年月、承認機関について記載して下さい。

承認済み (附帯条件なし) 承認済み (附帯条件あり) 審査中
 その他()

(承認年月:) 承認機関:)

質問 6. 環境影響評価以外の環境に関する許認可が必要な場合、その許認可名を記載して下さい。また、当該許認可を取得済みですか？

取得済み 取得必要だが未取得 取得不要 その他()

(許認可名: Ecological passport)

質問 7. 現時点でプロジェクトを特定できない案件 (例: 特定プロジェクトと関連のない機器等の単体輸出入やリース、承諾時にプロジェクトを特定できないツーステップローン等) ですか？

(Yes / No)

Yes の場合、以降の質問にお答え頂く必要はありません。
No の場合、質問 8 以下にお答え下さい。

質問 8. プロジェクトサイト内または周辺域に以下に示す「影響を受けやすい地域」がありますか？

(Yes / No)

Yes の場合、該当するものをマークして下さい。質問 9 以下にお答え下さい。
No の場合、質問 9 以下にお答え下さい。

- (1) 国立公園、国指定の保護対象地域（国指定の海岸地域、湿地、少数民族・先住民族のための地域、文化遺産等）
- (2) 原生林、熱帯の自然林
- (3) 生態学的に重要な生息地（珊瑚礁、マングローブ湿地、干潟等）
- (4) 国内法、国際条約等において保護が必要とされる貴重種の生息地
- (5) 大規模な塩類集積あるいは土壌浸食の発生する恐れのある地域
- (6) 砂漠化傾向の著しい地域
- (7) 考古学的、歴史的、文化的に固有の価値を有する地域
- (8) 少数民族あるいは先住民族、伝統的な生活様式を持つ遊牧民の人々の生活区域、もしくは特別な社会的価値のある地域

質問 9. プロジェクトにおいて以下に示す特性が予定されていますか？

Yes / No

Yes の場合、該当する特性の規模を記載して下さい。また、質問 10 以下にお答え下さい。
No の場合、質問 11 以下にお答え下さい。

- (1) 非自発的住民移転 (規模: 人)
- (2) 地下水揚水 (規模: m³/年)
- (3) 埋立、土地造成、開墾 (規模: 約 60 ha ※土漠の平坦化)
- (4) 森林伐採 (規模: ha)

質問 10. プロジェクトを実施する国の環境影響評価制度において、上記 (1) ~ (4) に該当する特性及びその規模が、プロジェクトの環境影響評価を実施する根拠になっていますか？

- 根拠となっている 根拠となっていない
- その他 ()

質問 11. 総プロジェクトコストに占める国際協力銀行または日本貿易保険支援割合が、5%以下または支援額が 10 百万 SDR 相当円以下ですか？(既往の同一プロジェクトへの追加支援の場合は累積額とする。)

Yes / No

Yes の場合、以降の質問にお答え頂く必要はありません。
No の場合、質問 12 以下にお答え下さい。

質問 12. 環境影響が軽微なもしくは悪化が予見されないプロジェクト(例: 既存設備のメンテナンスのプロジェクト、拡張を伴わないリハビリ、追加設備投資を伴わない権益取得)に該当しますか？

Yes / No

Yes の場合、以降の質問にお答え頂く必要はありません。
No の場合、質問 13 以下にお答え下さい。

質問 1 3. 以下に掲げる特定セクターに該当するプロジェクトですか？

(Yes) / No

Yes の場合、該当するセクターをマークして下さい。また、質問 14 にお答え下さい。
No の場合、以降の質問にお答え頂く必要はありません。

- (1) 鉱山
- (2) 石油・天然ガス開発
- (3) パイプライン
- (4) 鉄鋼業 (大型炉を含むもの)
- (5) 非鉄金属製錬
- (6) 石油化学 (原料製造。コンビナートを含む)
- (7) 石油精製
- (8) 石油・ガス・化学物質ターミナル
- (9) 紙、パルプ
- (10) 有害・有毒物質製造・輸送 (国際条約等に規定されているもの)
- (11) 火力発電
- (12) 原子力発電
- (13) 水力発電、ダム、貯水池
- (14) 送変電・配電 (大規模非自発的住民移転、大規模森林伐採、海底送電線を伴うもの)
- (15) 道路、鉄道、橋梁
- (16) 空港
- (17) 港湾
- (18) 下水・廃水処理 (影響を及ぼしやすい特性を含むか、影響を受けやすい地域に立地するもの)
- (19) 廃棄物処理・処分
- (20) 農業 (大規模な開墾、灌漑を伴うもの)
- (21) 林業、植林
- (22) 観光 (ホテル建設等)

質問 1 4. プロジェクトの規模 (概略開発面積、施設面積、生産量、発電量等) について記入して下さい。また、プロジェクトを実施する国において、そのプロジェクトの規模が大きいことを理由として環境影響評価が必要となるかどうかについても記入して下さい。

約 60ha の敷地内にアンモニア製造設備 (2,000t/日) 及び尿素製造設備 (3,500t/日) の他に、構内道路、倉庫、オフィスビルディング、カスピ海からの取水・海水淡水化・排水設備、製品積み込み設備等、又、約 10km のガス配管設備 (既存パイプラインからの引き込み線) 等インフラも整備する。プラント内での消費を目的とした発電設備も建設する (発電設備容量は 34,000kW の Gas Turbine Generator 2 基と、3,000kW の Emergency Diesel Engine Generator 1 基)。

周辺環境への影響の観点から、環境影響評価が必要となる。

環境チェックレポート

(1) プロジェクト名

ガラボガス肥料プラント建設プロジェクト（棧橋の追加建設）

(2) 実施場所

トルクメニスタン／バルカン州ガラボガス市

(3) プロジェクト概要

肥料プラントの建設に伴う棧橋の追加建設

(4) カテゴリ分類

カテゴリ A

(5) カテゴリ分類の根拠

本事業は、環境ガイドラインに掲げる影響を及ぼしやすいセクター（港湾セクター）に該当するため。

(6) 環境許認可

本プロジェクトの環境影響評価報告書（以下、「EIA 報告書」）は、同国制度に基づき同国自然保護省（以下、「当局」）より 2015 年 4 月 21 日に承認されている。

(7) 汚染対策

大気質、水質、廃棄物及び騒音・振動等項目について現地基準及び国際基準等に沿った適切な対策計画を策定・実施している。

(8) 自然環境面

本プロジェクトサイト内又は近傍地域に保護区及び文化遺産は存在しない。自然環境面への影響に対して適切な対策が講じられる旨、確認されている。

(9) 社会配慮面

本プロジェクトにおいては、新たな用地取得及び非自発的住民移転は存在していない。また労働環境についても、事業者は同国の労働環境に係る法令を遵守する計画である。

(10) 適用国際基準

世銀セーフガードポリシー

(11) その他・モニタリング

上記の環境レビューを踏まえ、環境関連許認可の取得状況等についてモニタリングを実施する予定。

以 上

質問事項

質問 1. プロジェクトサイトの住所を記入して下さい。

プロジェクトサイトの住所: トルクメニスタン バルカン州ガラボガス市

質問 2. プロジェクトの内容について簡単に記入して下さい。

現在、カスピ海沿岸のトルクメニスタン・ガラボガス市にアンモニア・尿素肥料プラントを建設中。
同肥料プラントの建設サイトから約 2.5Km の位置に既存の棧橋があり、これを製品輸出入用の船舶バースとして活用するために改修・拡張する計画。

質問 3. プロジェクトは、新規に開始するものですか、既に行われているものですか？既に行われているものの場合、既に行われているプロジェクトは現地住民等より強い苦情や現地環境当局から改善指導や工事中止・操業停止命令等を受けたことがありますか？

新規 既往 (苦情等あり) 既往 (苦情等なし) その他 ()

質問 4. プロジェクトに関して、環境社会影響評価 (ESIA、EIA 等) はプロジェクトを実施する国の法制度上必要ですか。必要な場合、実施または計画されていますか？

要 (実施済) 要 (実施中・計画中) 不要
 その他 ()

質問 5. 環境社会影響評価が既に行われている場合、環境社会影響評価はプロジェクトを実施する国の環境社会影響評価制度等に基づき審査・承認を受けていますか？既に承認されている場合、承認年月、承認機関について記載して下さい。

承認済み (附帯条件なし) 承認済み (附帯条件あり) 審査中
 その他 ()

(承認年月: 2015 年 4 月 21 日 承認機関: Ministry of Nature Protection of Turkmenistan)

質問 6. 環境社会影響評価以外の環境に関する許認可が必要な場合、その許認可名を記載して下さい。また、当該許認可を取得済みですか？

取得済み 取得必要だが未取得 取得不要 その他 ()

(許認可名:)

質問 7. 現時点でプロジェクトを特定できない案件 (例: 特定プロジェクトと関連のない機器等の単体輸出入やリース、承諾時にプロジェクトを特定できないツーステップローン等) ですか？

(Yes / No)

Yes の場合、以降の質問にお答え頂く必要はありません。
No の場合、質問 8 以下にお答え下さい。

質問 8. プロジェクトサイト内または周辺域に以下に示す「影響を受けやすい地域」がありますか？

(Yes) / No

Yes の場合、該当するものをマークして下さい。質問 9 以下にお答え下さい。

No の場合、質問 9 以下にお答え下さい。

- (1) 国立公園、国指定の保護対象地域（国指定の海岸地域、湿地、少数民族・先住民族のための地域、文化遺産等）
- (2) 生態学的に重要な森林（原生林、熱帯の自然林を含む）
- (3) 生態学的に重要な生息地（珊瑚礁、マングローブ湿地、干潟を含む）
- (4) 国内法、国際条約等において保護が必要とされる貴重種の生息地
- (5) 大規模な塩類集積あるいは土壌浸食の発生する恐れのある地域
- (6) 砂漠化傾向の著しい地域
- (7) 考古学的、歴史的、文化的に固有の価値を有する地域
- (8) 少数民族あるいは先住民族、伝統的な生活様式を持つ遊牧民の人々の生活区域（文化的、精神的な目的で使用される地域を含む）、もしくは特別な社会的価値のある地域

質問 9. プロジェクトにおいて以下に示す特性が予定されていますか？

(Yes) / No

Yes の場合、該当する特性の規模を記載して下さい。また、質問 10 以下にお答え下さい。

No の場合、質問 11 以下にお答え下さい。

- (1) 非自発的住民移転または生計手段の喪失 (規模: 人)
- (2) 地下水揚水 (規模: m³/年)
- (3) 埋立、土地造成、開墾 (規模: *以下ご参照 ha)
- (4) 森林伐採 (規模: ha)

* 船舶入港路の為の海底浚渫工事有り: 約 29 ha

質問 10. プロジェクトを実施する国の環境社会影響評価制度において、質問 9 (1) ~ (4) に該当する特性及びその規模が、プロジェクトの環境社会影響評価を実施する根拠になっていますか？

- 根拠となっている 根拠となっていない
- その他 ()

質問 11. プロジェクトは、社会面で重大な影響を及ぼす可能性が高いですか？

(Yes) / No

Yes の場合、該当する内容を記載して下さい。また、質問 12 以下にお答え下さい。

No の場合、質問 12 以下にお答え下さい。

- 人権への重大な影響を及ぼす可能性 ()
- その他 ()

質問 12. 総プロジェクトコストに占める国際協力銀行または日本貿易保険支援割合が、5%以下または支援額が 10 百万 SDR 相当円以下ですか？(既往の同一プロジェクトへの追加支援の場合は累積額とする。)

(Yes) / No

Yes の場合、以降の質問にお答え頂く必要はありません。

No の場合、質問 13 以下にお答え下さい。

質問 13. 環境社会影響が軽微なもしくは悪化が予見されないプロジェクト（例：既存設備のメンテナンスのプロジェクト、拡張を伴わないリハビリ、追加設備投資を伴わない権益取得）に該当しますか？

(Yes) (No)

Yes の場合、以降の質問にお答え頂く必要はありません。
No の場合、質問 14 以下にお答え下さい。

質問 14. 以下に掲げる特定セクターに該当するプロジェクトですか？

(Yes) (No)

Yes の場合、該当するセクターをマークして下さい。また、質問 15 にお答え下さい。
No の場合、以降の質問にお答え頂く必要はありません。

- (1) 鉱山
- (2) 石油・天然ガス開発
- (3) パイプライン
- (4) 鉄鋼業（大型炉を含むもの）
- (5) 非鉄金属製錬
- (6) 石油化学（原料製造。コンビナートを含む）
- (7) 石油精製
- (8) 石油・ガス・化学物質ターミナル
- (9) 紙、パルプ
- (10) セメント（新設の採石場を含むもの）
- (11) 有害・有毒物質製造・輸送（国際条約等に規定されているもの）
- (12) 火力発電
- (13) 原子力発電
- (14) 水力発電、ダム、貯水池
- (15) 送変電・配電（大規模非自発的住民移転、大規模森林伐採、海底送電線を伴うもの）
- (16) 道路、鉄道、橋梁
- (17) 空港
- (18) 港湾
- (19) 下水・廃水処理（影響を及ぼしやすい特性を含むか、影響を受けやすい地域に立地するもの）
- (20) 廃棄物処理・処分
- (21) 農業（大規模な開墾、灌漑を伴うもの）
- (22) 林業、植林
- (23) 観光（ホテル建設等）

質問 15. プロジェクトの規模（概略開発面積、施設面積、生産量、発電量等）について記入して下さい。また、プロジェクトを実施する国において、そのプロジェクトの規模が大きいことを理由として環境社会影響評価が必要となるかどうかについても記入して下さい。

既存の棧橋（長さ 128.5m、幅 15.35m）を延長する形で、長さ 153m、幅 29m の新たな棧橋を敷設。
新棧橋はバルク・シップローダーにより最大毎時 1,200 トンの積込能力を擁する。
寄港可能な船舶の最大サイズは下表通り。

Function	DWT(t) *	Length (m)	Width (m)	Draft (m)
Dry Bulk, General Cargo	7000	150	18	6.5
Container Cargo	5000	140	20	6.5

*Dead weight tonnage

周辺環境への影響の観点から、環境社会影響評価が必要となる。